

学会活動報告

○日本印度学仏教学会

第三十四回学术大会は、六月十一日(土)・十二日(日)の両日、高野山大学(和歌山県高野町)において開催され、本学より左の四氏が研究発表された。

身延山晩年の日蓮聖人 上田 本昌  
智願と灌頂 ― 各別義通をめぐって― 若 杉 見龍  
朝師御書見聞の一考察 中 條 暁秀  
― 本尊抄私記・見聞について(一)―  
破僧伽について 望 月 海英

○国際東洋会議

第三十一回国際東洋会議は、八月三十一日(水)より九月六日(火)まで東京と京都で開催された。本学から九月四日(日)に町田是正教授が、九月五日(月)に上田本昌教授が、国立京都国際会館において研究発表された。

智願と靈性(英文) 町 田 是 正  
身延山における日蓮聖人(英文) 上 田 本 昌

○日本仏教学会

昭和五十八年度学术大会は、十月二十二日(土)・二十三日(日)の両日にわたり、「仏教における時機観」を共同研究テーマとして、早稲田大学七号館(東京都新宿区)で開催され、本学の町田是正教授が研究発表された。

日蓮における時機観

町 田 是 正

○日蓮宗教学研究発表大会

第三十六回日蓮宗教学研究発表大会は、十月二十八日(金)・二十九日(土)の両日、立正大学において開催された。本学からの研究発表者は左の四氏であった。

天台教学における超越証 若 杉 見龍  
鬼子母神の背景 高 橋 堯 昭  
朝師御書見聞考 中 條 暁 秀  
― 本尊抄私記・見聞について(一)―  
身延山西谷堂字考 上 田 本 昌

○山梨県一般教育研究協議会

山梨県一般教育研究協議会が、十二月三日(土)に山梨学院大学で開催され、本学の町田是正教授が研究発表された。

修道智願と靈性

町 田 是 正

## 図書館だより

同窓会の東京支部を始め、全国各地の支部や、同窓生の各聖より、本年度も又数多くの献本がありました。厚くお礼を申し上げます。大学図書館として、次第に蔵書も増え、充実しつつある状態ですので、今後もしよろしくお願い申し上げます。

前号のこの欄でもご紹介いたしました通り、理事会でも近い将来に新図書館を建設することが議せられ、建設の場所や規模について話し合われています。

また、昨年十一月廿九日に開かれた同窓会本部役員会の席上山梨県支部の岩田日成支部長から、図書館建設資金にと、地元山梨県の支部会員に呼びかけ、寄附金募集を開始した旨の発表がありました。同支部の寄附金目標額は壹千万円とし、五十九年の春までに、この目標を達成したいとのことでありました。出席された松井大周会長を始め、各役員も、この計画に呼応して各支部ごとに図書館建設資金を拠出して下さることになりました。

とりあえず、同窓生の任意の会員によって組織されている「和身会」(小崎龍雄代表)では、百万円の建設資金が寄せられました。現在、同窓生からの建設資金は、学校を通して久遠寺の経理部に届けられ、積立てられています。

立派な図書館が建設され、宗門の子弟が行学二道に精進でき

ますよう、皆様方のご協力を切望いたします。

### 図書寄贈者芳名(年月日現在)

- 1、灘上恵教師「日本名僧論集第4巻源信」等五冊  
神奈川山横浜市 善行寺
- 2、新川日見師「哲学入門」等一七九冊、パンフレット23冊  
東京都墨田区大平
- 3、実相寺佐久間智周師「啓蒙」等二二八冊  
静岡県富士市岩本
- 4、久本信明師「大日本仏教全書」等四六八冊  
東京都葛飾区青戸二一三一 護国立正教会
- 5、大平智恩師「茶の湯全書」等八六冊  
甲府市武田四一―四三 要法寺
- 6、鎌田行学師「仏のあゆみ」等三一冊  
愛知県西尾市今川町馬捨場 妙恩寺
- 7、林 円修師「日本人の意識構造」等9冊  
愛知県海部郡 地福寺
- 8、上岡信子様「法華経講義全八巻」等三三冊  
富士市吉原四一―三二二
- 9、町田紀子様「文学概論」等十一冊 他雑誌「国文学」30冊  
山梨県身延町 延寿坊内
- 10、本納寺「法華写経の研究」一冊  
東京都豊島区 本納寺

11、坂輪宣教師「悠久のいのち（法華経）」一冊

東京都港区白金台3-17-5

12、高橋堯慈師「社会学理学」等二冊

富士市今泉五-17-1 妙延寺

13、谷川寛徳師の紹介により、富山県魚津市の金三津三郎氏より、英米文学に關する洋書「NATHANIEL HAWTHORNE JOURNAL」等七〇〇冊の献本（時価約二〇〇万円相当）がありました。

14、上田本昌師「身延路」（句集）二冊

身延町下山 上沢寺

## 【出版紹介】

### 身延山短期大学学会編

里見泰穂先生著作論文集 A五判・三七〇頁。

身延山短期大学々頭・里見泰穂先生の四十余年に亘る研究業績の集大成とも云える論文集である。先生はカント・ヘーゲル等の研究にも没頭され、その西洋近世哲学思想を研究の基盤に据えて、仏教時間論の研究をライフワークとされ、そこから派生する諸問題に思索の歩をすすめられてきた。此論文集には二十五篇収録され、それを仏教時間論・仏教存在論 法華経の哲学・中観論の論理・原典翻訳の五分類にされている。いずれも日本仏教学会・日本印度学仏教学会・文部省科学助成共同研究

・樓神等々に既発表されたものであるが、学会から高い評価を得ている珠玉の論文集である。

尚此論文の発刊に当っては、本学園の昭和二十四年度卒業生「鶴群会」諸氏の尽力のあったことを特記し、学園当局として深甚の謝意を表します。

申込先：身延山短期大学々会宛

頒布価格：五千元（送共五千五百円）

## ◇同窓会（本部）だより◇

身延山教学の振興の爲にも、法器養成のためにも、学園図書館を新建築すること、図書充実をはかることは、学園が積年かかえてきた課題であります。同窓諸賢の深いご理解を得て図書館図書の献本運動が、東京支部の運動が核となって、いまや全国的規模にまで高まりを見せております。一方、図書を格護する図書館の新築についても、身延山御当局から熱意が示され、大本堂建築落慶の後には学園の施設整備、教育体制整備に尽力したいとの朗報もあって図書館建設こそいま同窓会の課題となって参りました。こうした大勢のなかで、同窓会本部役員会（五十八年一月・十月）に於ても、建設に向つて運動を展開することが議決され、また山梨支部では十一月一日、目標額一千万を目指し勸募が展開されている。何卒、同窓諸賢には、学園の発展と充実のために、御尽力を賜りますようお願いする次第です。尚、本誌の「図書館だより」併せ御覧ください。

## 本誌56号執筆者紹介(論文掲載順)

- 上田 本昌 本学教授 日蓮教学・祖習学  
中條 暁 秀 本学助教授 日蓮教学・祖習学  
町田 是 正 本学教授 中世日本仏教思想史  
望月 海 淑 本学教授 仏教学・梵文学  
望月 海 英 本学講師 仏教学・梵文学  
若杉 見 龍 本学教授 中国仏教史・天台学  
中里 悠 光 本学師講 法学  
高橋 堯 昭 本学教授 哲学・東西比較思想史  
奥野 本 洋 本学講師 天台学  
大森 孝 本学教授 英語学・英文学

## 竹下日康法主猥下御遷化

身延山第八十九世法主・身延山短期大学々長・真乘院竹下日康猥下には、昭和五十九年四月十六日午後四時五十二分御遷化された。法主様は四十余年に亘り、文字通り常在給仕・採薪給水の後法勞でありました。八十三世一乘院日謙上人・八十六世一乘院日静上人・八十七世一妙院日雄上人・八十八世太玄院日滋上人の歴代法主の陛下に在って、久遠寺庶務部長・総務を勤め、併せ身延山学園の理事長学監など、身延山の枢要の場において敏腕をふるい、身延山興隆の原動力となり、堂塔宇の整備

莊嚴輪奐の美を現出されました。昭和五十七年四月三日桜花爛漫のなか、第八十九世の猥座(守塔沙門)に晋董以来、宗祖七百遠忌報恩の大事業として、大本堂の建立に精力を傾けられ、大伽藍の建立を見ましたが、内陣莊嚴の竣工を未だし、その完成をみないで、突然、化を他界に移されたことは、日康猥下の御丹誠を知る者として、痛哭の涙を襟しえません。悲痛の寂さ極みなし、謹んで学園教職員一同、心より増円妙道をお祈り申しあげます。  
(町田・文責)

## 岩間日勇猥下・身延山第九十世に晋董

昭和五十九年四月二十日身延山久遠寺祖山会は、万場一致を以って、現久遠寺総務・岩間日勇猥下(山梨県増穂町青柳昌福寺山主)を第九十世守塔沙門に推挙いたしました。岩間猥下には、昭和三十四年一乘院藤井日静猥下以来、布教部長の要職に在り、身延山街頭布教隊を組織し、陣頭に法旗を掲げ、身延山の宣揚に尽粹され、昭和五十七年総務の重責を負うや、竹下日康猥下と両輪となって身延山発展のため、日夜の常在御精進は言外の法功でありました。宗門に新設された財団賞布教部門の第一回受賞者となられた事は、身延山のみならず、宗門興学に寄与された法功の大きさを示しています。

宗祖七百遠忌の記念事業の掉尾を飾る大本堂の完遂こそまたれる所であります。新法主猥下には法体弥々健かに、為宗護山に御尽力あらんことを、併せ身延山教学の発展の為に一臂の御

助力を賜わらんことをお願い申し上げます。

(町田・文責)